

西脇市 子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査 平成 26 年2月【結果報告書 ー抜粋ー】

調査概要

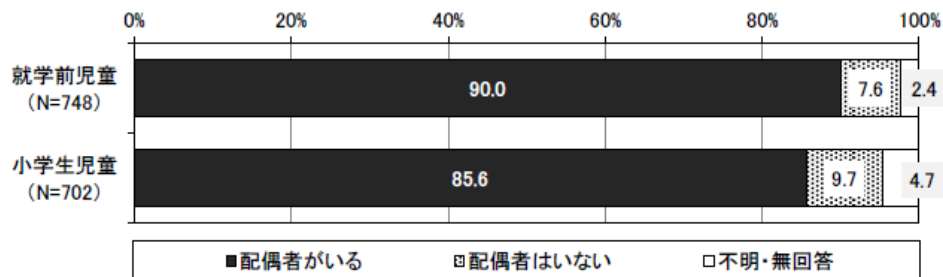
- 調査地域：西脇市全域
- 調査対象者：西脇市内在住の「小学校入学までの子ども」「小学生」を持つ世帯・保護者
- 調査期間：平成 25 年 11 月 29 日（金）～平成 25 年 12 月 18 日（水）
- 調査方法：郵送による配布・回収

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
小学校入学までの子ども用	1,523	748	49.1%
小学生用	1,477	702	47.5%
合計	3,000	1,450	48.3%

子どもの育ちをめぐる環境について

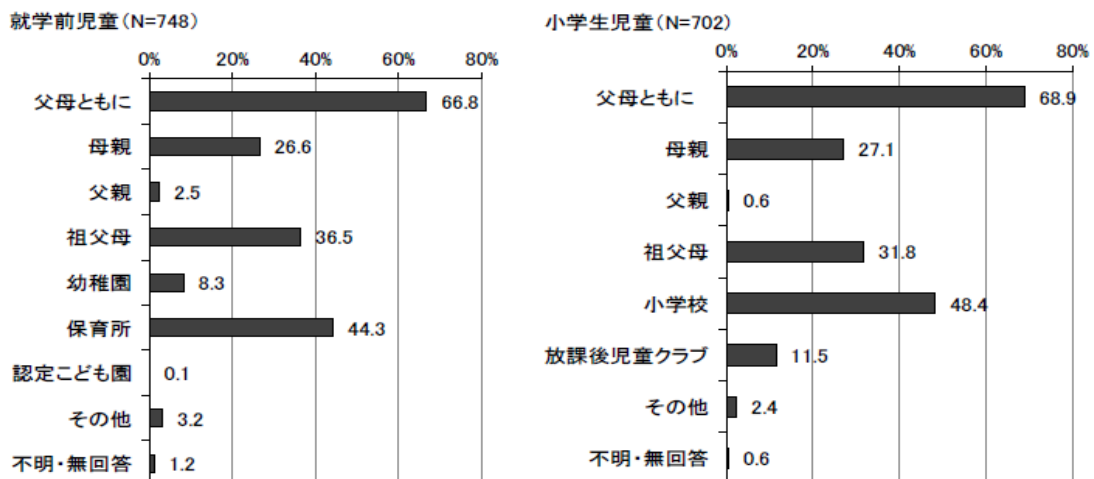
◇調査票の回答者の配偶関係の有無

回答者の配偶関係の有無についてみると、「配偶者がいる」が小学校入学までの子どもで 90.0%、小学生で 85.6%となっている。



◇子育てに日常的にかかわっている方（施設）

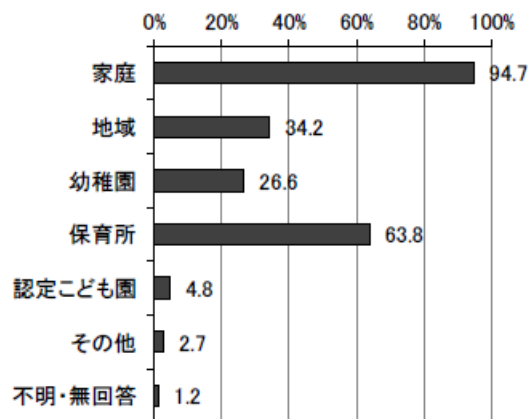
子育てに日常的に関わっている方（施設）についてみると、「父母ともに」が小学校入学までの子どもで 66.8%、小学生で 68.9%と最も高くなっている。次いで、小学校入学までの子どもでは「保育所」が 44.3%となっている。



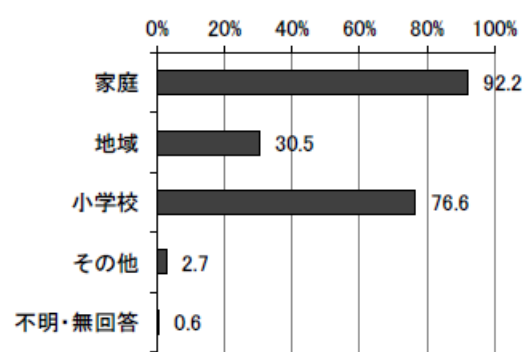
◇子育てや教育に影響すると思われる環境〈複数回答〉

子育てや教育に影響すると思われる環境についてみると、「家庭」が小学校入学までの子どもで 94.7%、小学生で 92.2%と最も高くなっている。次いで、小学校入学までの子どもでは「保育所」が 63.8%となっている。

就学前児童(N=748)



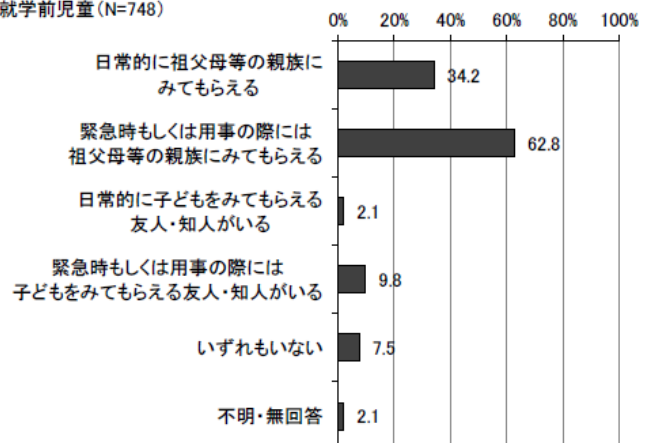
小学生児童(N=702)



◇日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無

小学校入学までの子どもに関して、日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無についてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 62.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 34.2%となっている。

就学前児童(N=748)

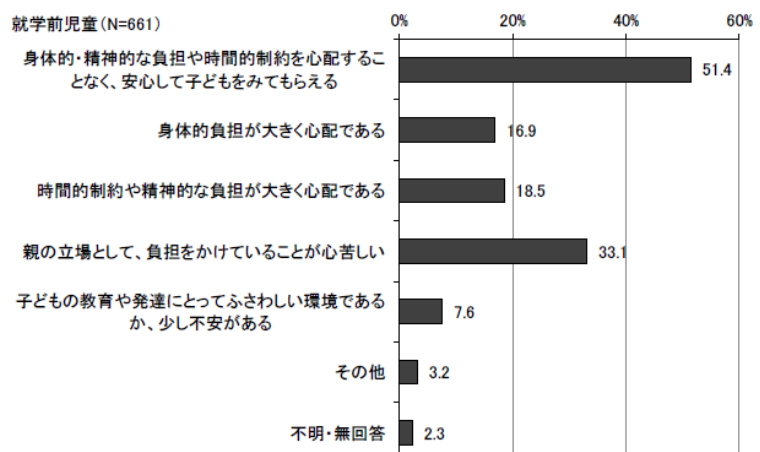


「日常的に祖父母や親族にみてもらえる」又は「緊急時や用事の際には祖父母や親族にみてもらえる」を選んだ人

・祖父母等の親族にみてもらっている状況〈複数回答〉

小学校入学までの子どもに関して、祖父母等の親族にみてもらっている状況について、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」が 51.4%と最も高く、次いで、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 33.1%となっている。

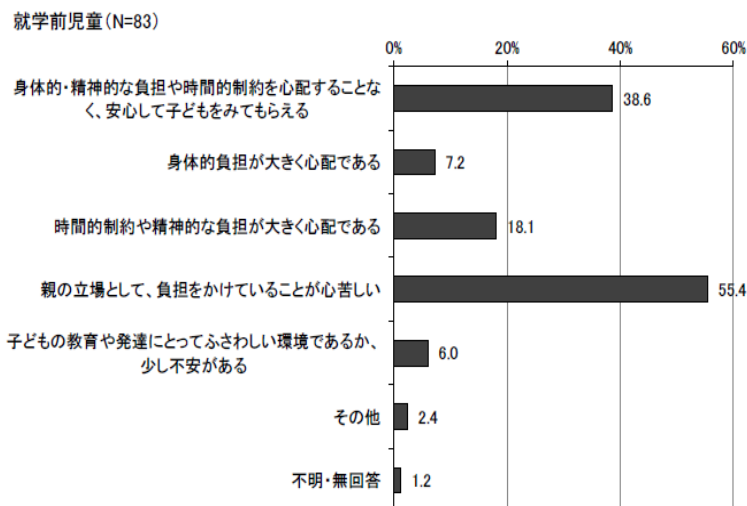
就学前児童(N=661)



「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」又は「緊急時又は用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ人

・友人・知人にみてもらっている状況〈複数回答〉

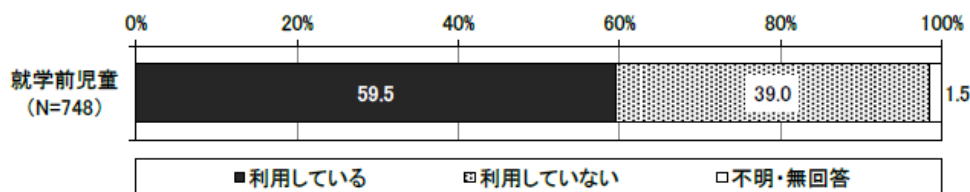
小学校入学までの子どもに関して、友人・知人にみてもらっている状況についてみると、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 55.4%と最も高く、次いで、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 38.6%となっている。



幼稚園・保育所等の利用状況（小学校入学までの子ども）

◇現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉

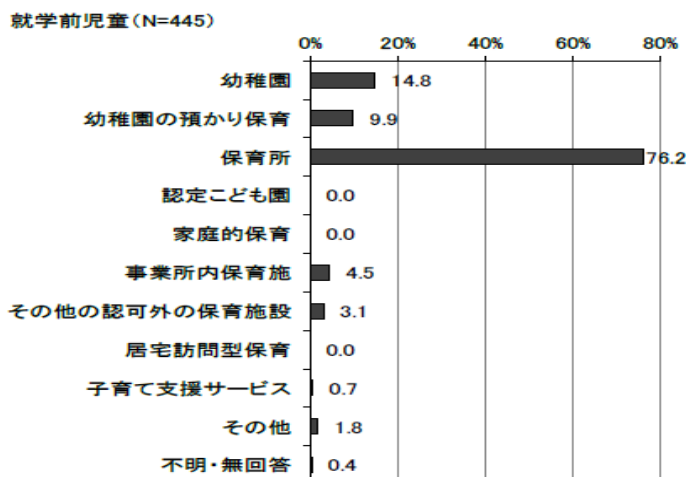
現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が 59.5%、「利用していない」が 39.0%となっている



「利用している」を選んだ人

・利用している事業内容〈複数回答〉

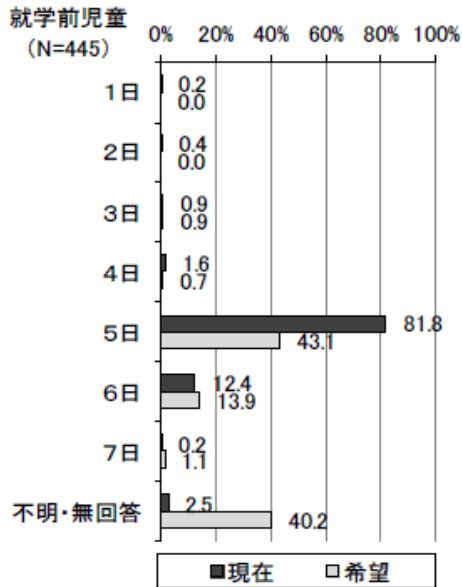
利用している教育・保育事業に関して、「保育所」が 76.2%と最も高く、次いで、「幼稚園」が 14.8%となっている。



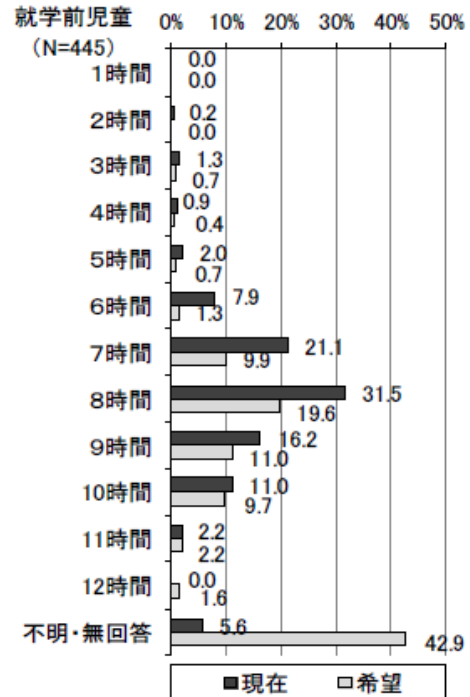
・利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望〈数量回答〉

利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望についてみると、1週当たりの利用日数では、「5日」が最も高く、現在の利用日数で 81.8%、希望する利用日数で 43.1%となっている。1日当たりの利用時間では、「8時間」が最も高く、それぞれ 31.5%、19.6%となっている。利用開始時間では、「8時台」が最も高く、それぞれ 55.5%、32.6%となっている。終了時間では、「16時台」が最も高く、それぞれ 41.8%、20.2%となっている。

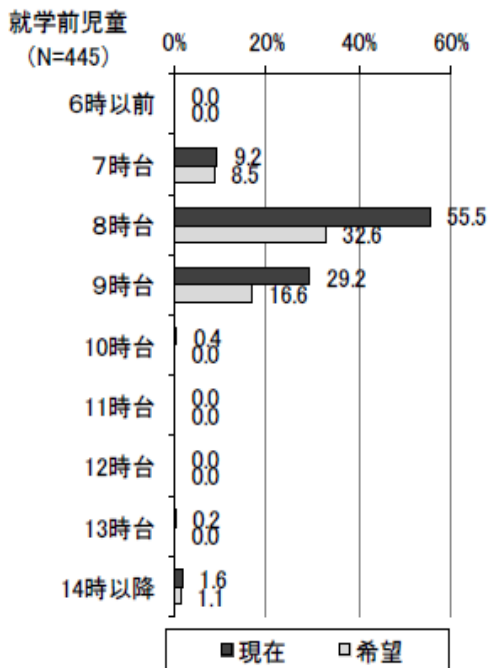
① 1週当たりの利用日数〈数量回答〉



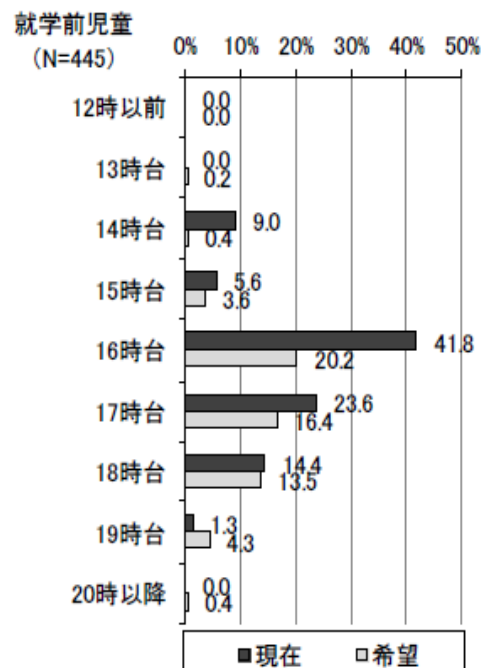
② 1日当たりの利用時間〈数量回答〉



③ 利用開始時間〈数量回答〉

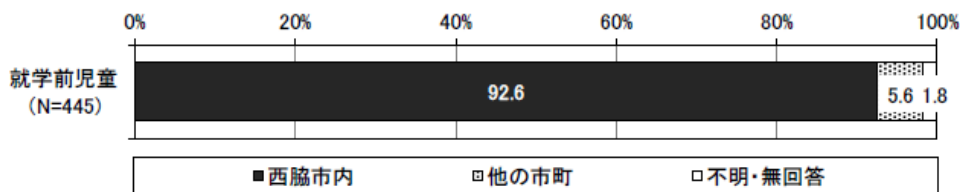


④ 利用終了時間〈数量回答〉



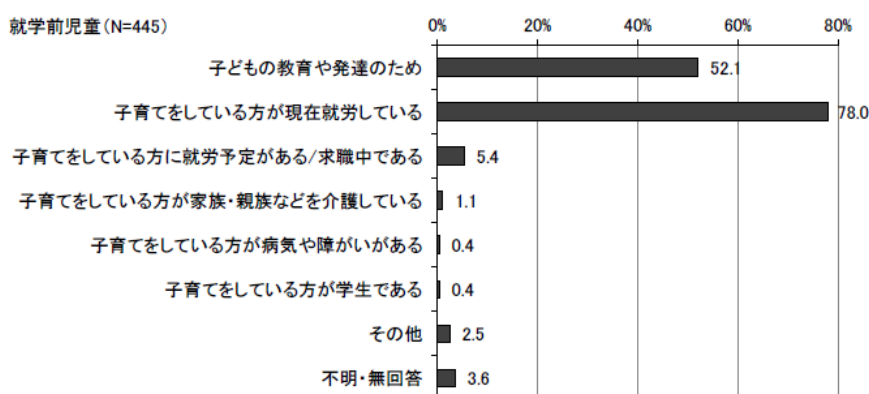
・平日、利用している教育・保育事業の実施場所〈単数回答〉

利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「西脇市内」が 92.6%と大部分を占めている。



・教育・保育事業を利用している主な理由〈複数回答〉

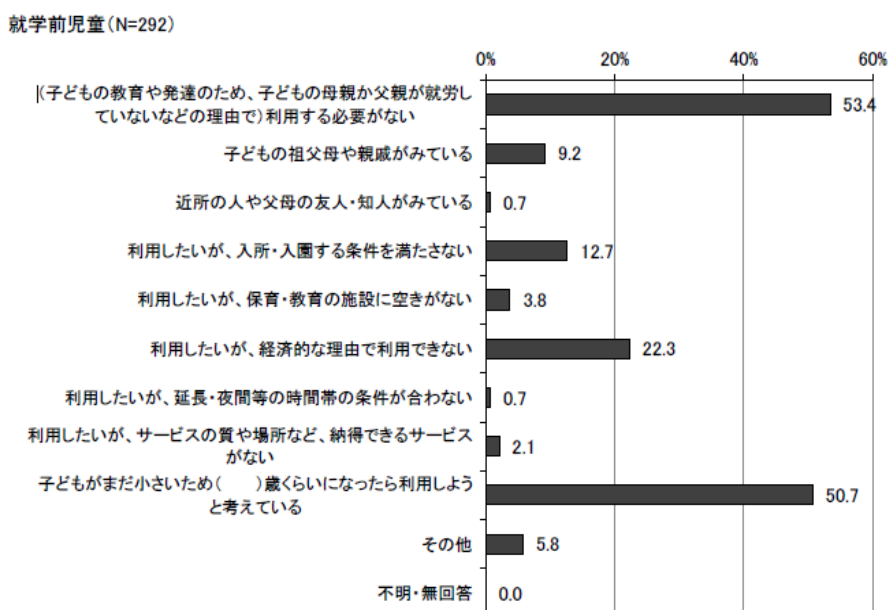
教育・保育事業を利用している主な理由についてみると、「子育てをしている方が現在就労している」が 78.0%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 52.1%となっている。



「利用していない」を選んだ方

・利用していない主な理由〈複数回答〉

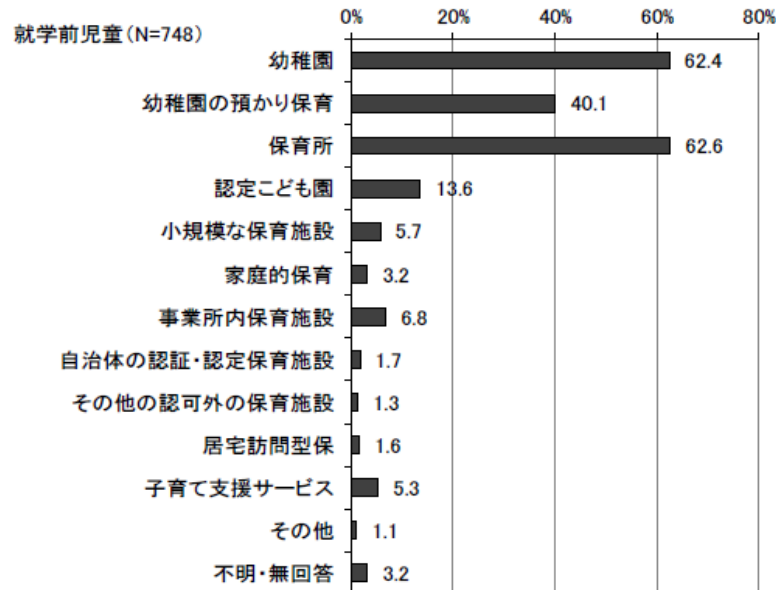
教育・保育事業を利用していない主な理由についてみると、「利用する必要がない」が 53.4%と最も高く、次いで、「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」が 50.7%となっている。また、子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようとする時の子どもの年齢については、「3歳」が 45.3%と最も高くなっている。



◇現在の利用の有無にかかわらず、今後、教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える

事業〈複数回答〉

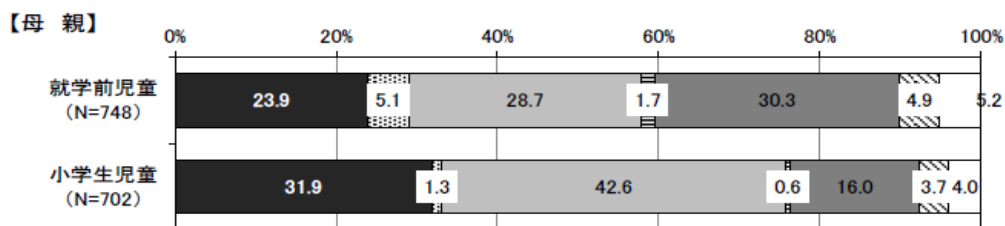
今後、教育・保育事業として定期的に利用したいと考える事業についてみると、「保育所」が 62.6%で最も高く、次いで「幼稚園」が 62.4%となっている。



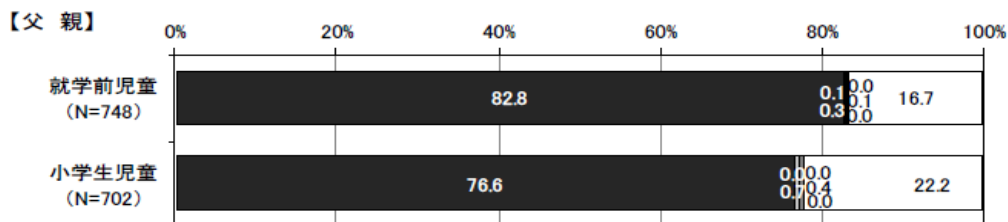
保護者の就労状況について

◇保護者の就労状況〈単数回答〉

保護者の就労状況について、母親に関しては、小学校入学までの子どもで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 30.3%、小学生で「就労している(パートタイム・アルバイト等)」が 42.6%と最も高くなっている。父親に関しては、「フルタイム」が最も多く、小学校入学までの子ども、小学生それぞれで、82.8%、76.6%と大部分を占めている。



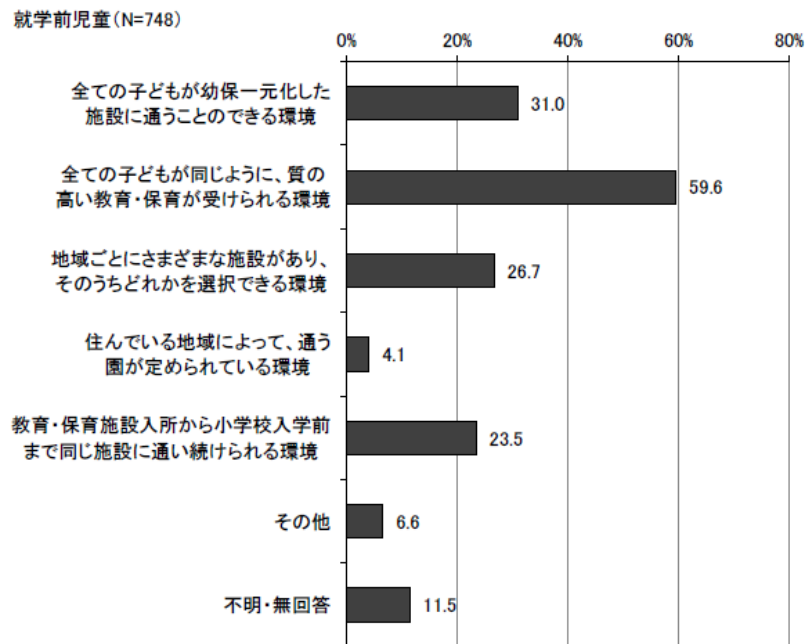
- 就労している(フルタイム;産休・育休・介護休業中は含まない)
- ▣ 就労している(フルタイムだが産休・育休・介護休業中)
- 就労している(パートタイム、アルバイト等)
- ▤ 就労している(パートタイム・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中)
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▩ これまでに就労したことがない
- 不明・無回答



- 就労している(フルタイム;産休・育休・介護休業中は含まない)
- ▣ 就労している(フルタイムだが産休・育休・介護休業中)
- 就労している(パートタイム、アルバイト等)
- ▤ 就労している(パートタイム・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中)
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▩ これまでに就労したことがない
- 不明・無回答

◇西脇市で必要な教育・保育の内容〈3項目まで回答〉

西脇市で必要な教育・保育の内容としては、「全ての子どもが同じように、質の高い教育・保育が受けられる環境」が59.6%と最も高くなっている。



◇現在、就労していない人の就労希望〈単数回答〉

現在就労していない方の就労希望の有無に関して、小学校入学前までの子どもをもつ母親では、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が最も高く48.1%、小学生の子どもをもつ母親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が39.9%と最も高くなっています。父親については、「子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件ずつとなっている。

子どもが大きくなった後での就労を希望する場合、その年齢としては、「3歳」が最も多くなっています。すぐに就労したい場合の雇用形態としては、パートタイム・アルバイトを希望する割合が80%以上を占め、就労時間としては、週5日、1回5時間が最も回答者の多い項目になっている。

